

授業科目：看護展開基礎実習	2年次	必修	2単位	90時間	実習
---------------	-----	----	-----	------	----

時間	項目	内容
90	看護展開基礎実習	実習要項参照
目的：施設利用者の生活状況に応じた看護を展開する一連の思考を身につける。		
目標： <ol style="list-style-type: none"> 1. 対象の生活史・時代背景をふまえて、現在の生活状況を理解する。 2. 対象の現在の生活状況から課題を明確にする。 3. 対象の課題を達成するために必要な看護計画を立案し、看護の実施・評価を繰り返すことができる。 4. 対象の生活を支えている多職種連携の必要性と看護職の役割について述べる。 5. 施設利用者の「その人らしい生活」を実現するために必要な支援のあり方を考察する。 ◆「生活状況」とは、心身の状態、生活の状態、生活と心身の状態の背景を含む。		
実務経験のある教員：佐藤 純子 他 看護師としての臨床経験を活かし、学生が対象の生活状況に応じた看護を展開する一連の思考を身につけることを支援する。		
評価方法：評価表を用いて評価を行う。		
先修科目：生活者理解実習、日常生活支援実習		
実習場所：南魚沼市、湯沢町、魚沼市、十日町市、津南町の高齢者福祉施設		

授業科目：ヘルスアセスメント実習	2年次	必修	1単位	45時間	実習
------------------	-----	----	-----	------	----

時間	項目	内容
45	ヘルスアセスメント実習	実習要項参照
目的：健康障害を持つ患者に適切な看護を提供するためのヘルスアセスメントの思考を身につける。		
目標： <ol style="list-style-type: none"> 1. 患者の現在の状況を理解するために必要なデータを選択的に収集・整理し、情報化する。 2. 情報化の結果を基に、分析を行い、総合的に患者を理解する。 3. 情報や分析を基に看護上の問題を表現する。 4. 体験を通し、看護の知識やそれを活用する能力を高める。 		
実務経験のある教員：小林 大輔 他 看護師としての臨床経験を活かし、学生が健康障害を持つ患者に適切な看護を提供するためのヘルスアセスメントの思考を身につけることを支援する。		
評価方法：評価表を用いて評価を行う。		
先修科目：看護形態機能学Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ		
実習場所：病院		

授業科目：セルフマネジメント支援実習 3年次 必修 2単位 90時間 実習

時間	項目	内容
90	セルフマネジメント支援実習	実習要項参照
目的：対象の健康課題に応じたセルフマネジメントを支援する基礎的能力を養う。		
目標： 1. 対象の健康課題に対するセルフマネジメント能力を捉える。 2. 対象のセルフマネジメントを促進する支援を考え実施・評価する。 3. 対象がセルフマネジメントを継続するために必要な看護について考察する。		
実務経験のある教員：大谷 佳奈 他 看護師としての臨床経験を活かし、学生が対象の健康課題に応じたセルフマネジメントを支援する基礎的能力を養うことを支援する。		
評価方法：評価表を用いて評価を行う。		
先修科目：看護展開基礎実習		
実習場所：病院		

授業科目：クリティカルケア看護実習 3年次 必修 2単位 90時間 実習

時間	項目	内容
90	クリティカルケア看護実習	実習要項参照
目的：高度侵襲下で生命の危機的状況(クリティカルな状況)にある患者と家族に対する看護を提供していくための臨床判断能力を養う。		
目標： 1. クリティカルな状況にある患者の生命を守るために行われている看護について述べる。 2. クリティカルな状況にある患者と家族に関わる看護師と自身学生の思考過程・方法の差異に気づく。 3. クリティカルな状況にある患者の生命を守るために状態を判断し、安全・安楽な看護ケアを実施する。 4. クリティカルケア看護の実践のために大切なことは何かを述べる。		
実務経験のある教員：小林 大輔 他 集中ケア認定看護師としての臨床経験を活かし、学生がクリティカルな状況にある患者と家族に対する看護を提供していくための臨床判断能力を身につけることを支援する。		
評価方法：評価表を用いて評価を行う。		
先修科目：ヘルスアセスメント実習		
実習場所：病院		